

# ドルマネーファンド

追加型投信／海外／その他資産（短期金融資産）

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「ドルマネーファンド」は、2017年3月10日に第75期の決算を行いました。

当ファンドは、米国短期金融商品の金利の確保と為替益の獲得をめざして安定運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2016年9月13日～2017年3月10日

第74期	決算日：2016年12月12日	
第75期	決算日：2017年3月10日	
第75期末 (2017年3月10日)	基準価額	7,369円
	純資産総額	6,145百万円
第74期～ 第75期	騰落率	11.9%
	分配金合計	20円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています。（以下同じ）

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

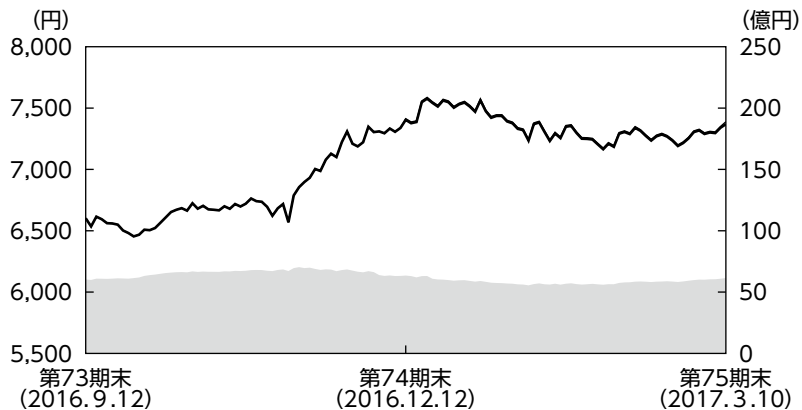
アセットマネジメントOne株式会社

（旧社名：D I AMアセットマネジメント株式会社）

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第74期首： 6,602円  
 第75期末： 7,369円  
 (既払分配金20円)  
 騰落率： 11.9%  
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

米国のトランプ新大統領の掲げた経済・財政政策に対する期待が高まったことや、米国内の堅調なファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）を背景に政策金利の引き上げが実施されたことなどにより、円安米ドル高が進行したことがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

## 1万口当たりの費用明細

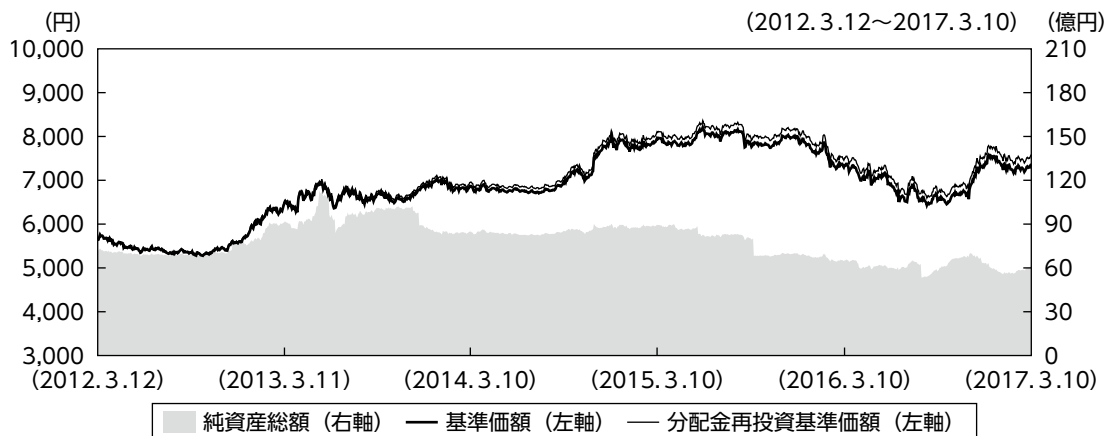
項目	第74期～第75期		項目の概要
	(2016年9月13日 ～2017年3月10日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	36円	0.502%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,086円です。 投信会社分は、委託した資金の運用の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価 受託銀行分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行 等の対価
(投信会社)	(15)	(0.212)	
(販売会社)	(19)	(0.264)	
(受託銀行)	( 2)	(0.026)	
(b) その他費用	0	0.004	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する諸費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	( 0)	(0.002)	
(監査費用)	( 0)	(0.002)	
合計	36	0.507	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、2012年3月12日の基準価額をもとに指数化したものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまが利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

	2012年3月12日 期首	2013年3月11日 決算日	2014年3月10日 決算日	2015年3月10日 決算日	2016年3月10日 決算日	2017年3月10日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	5,640	6,486	6,865	7,962	7,335	7,369
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	40	40	40	40	40
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	15.8	6.5	16.6	△7.4	1.0
純資産総額 (百万円)	7,179	9,158	8,479	8,953	6,509	6,145

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指標は定めておりません。

## 投資環境

為替市場では円安米ドル高が進行しました。2016年11月の米国大統領選挙においてトランプ氏が勝利し、勝利演説において大規模な経済・財政政策を実施する旨が示されると、同国の景気拡大への期待が高まり、利上げのペースが加速するとの見方から、世界的に米ドル高が進行しました。12月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げが決定されると米ドル高が一段と進行しましたが、その後はトランプ氏や側近からの米ドル高をけん制する発言などを背景に円高米ドル安が進行しました。

米国短期債利回りは上昇（価格は下落）しました。2016年11月の米国大統領選挙においてトランプ氏が勝利し、勝利演説において大規模な経済・財政政策を実施する旨が示されると、同国の景気拡大への期待が高まり、利上げのペースが加速するとの見方から、短期債利回りは大きく上昇しました。また、2017年3月には堅調な米国内の経済指標やFOMCメンバーによる利上げへの前向きな発言などを背景に、同月中旬に開催されるFOMCでの利上げを織り込むかたちで利回りは大きく上昇しました。

## ポートフォリオについて

米国短期金融マーケットへの投資を通して、利子等収益の確保と円安ドル高時の為替益の享受によりリターンの獲得をめざしました。当作成期の運用は、引き続き格付会社からトリプルA（AAA）の格付を取得している米国国債を中心とした組入れを実施しました。ドルの余資については、翌日物外貨預金による運用を行いました。

### ○ポートフォリオ構成

資産の内容	組入比率 (%)
ドル建て債券	55.9
ドル預金等	43.6
円資産（コールローン、その他）	0.4
合計	100.0

（注1） 設定解約とドルの送金とのタイミングのずれにより、円資産がマイナスとなることがあります。

（注2） 組入比率は純資産総額に対する割合です。

## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第74期	第75期
	2016年9月13日 ~2016年12月12日	2016年12月13日 ~2017年3月10日
当期分配金（税引前）	10円	10円
対基準価額比率	0.13%	0.14%
当期の収益	8円	-円
当期の収益以外	1	10
翌期繰越分配対象額	3,194	3,184

（注1） 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2） 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

## 今後の運用方針

米国では景気改善基調が継続しています。またインフレ圧力も高まりつつあることから、利上げは今後も一定のペースで実施されると予想されます。加えて、トランプ新大統領の経済政策は利上げのペースを加速させる可能性があります。米ドル/円市場は、米国の金融引き締め政策を背景に円安米ドル高を予想しますが、同国のドル高をけん制する発言には留意が必要です。

短期債の運用については、金利上昇の影響を避けるためデュレーション<sup>※</sup>は短めを基本としつつ機動的に運用する方針です。また、引き続き、流動性確保の観点から、資産の一定割合を外貨預金で保有する方針です。

※金利変動に対する債券価格の変動性。

## お知らせ

■D I AMアセットマネジメント株式会社は、平成28年10月1日にみずほ投信投資顧問株式会社、新光投信株式会社、みずほ信託銀行株式会社（資産運用部門）と統合し、商号をアセットマネジメントOne株式会社に変更しました。なお、当該統合に伴い、ファンドの運用方針、運用プロセス等に変更はありません。

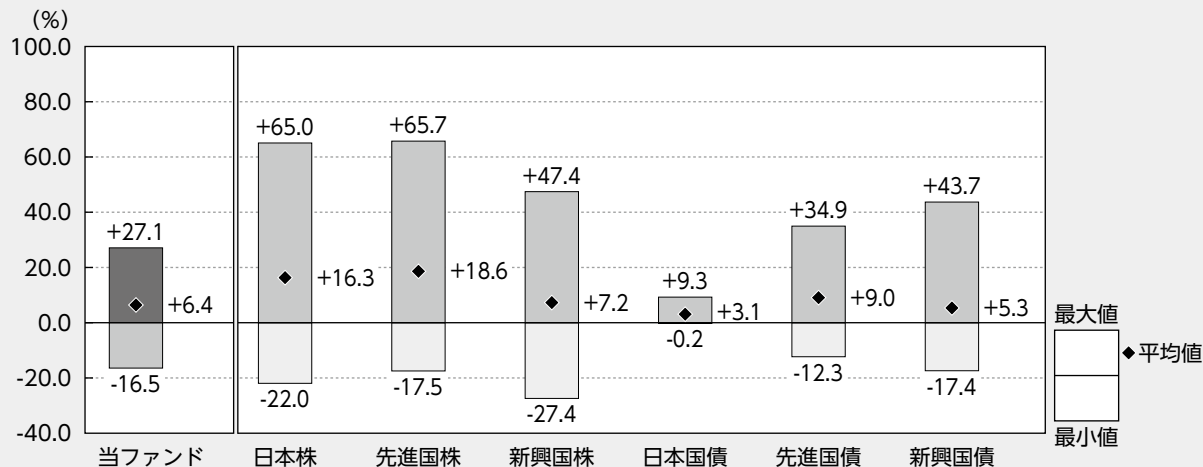
■委託会社の統合により、約款に所要の変更を行いました。

(平成28年10月1日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/海外/その他資産（短期金融資産）
信託期間	1998年6月19日から無期限です。
運用方針	米国短期金融商品の金利の確保と為替益の獲得をめざして安定運用を行います。
主要投資対象	米ドル建の短期国債、米ドル建の政府機関債、米ドル建のコマーシャル・ペーパーおよび米ドル建の譲渡性預金証書を主要投資対象とします。
運用方法	米国短期金融マーケットへの投資を通して、利子等収益の確保と円安・米ドル高時の為替益の享受により、好リターンの獲得をめざします。 外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。
組入制限	外貨建資産への投資には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として3月、6月、9月および12月の各10日。休業日の場合は翌営業日。）に、原則として利子・配当等収益および有価証券の売買益（評価益を含みます。）等を分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2012年3月～2017年2月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものととして計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (円ベース、配当込み)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (円ベース、配当込み)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。

●「東証株価指数 (TOPIX)」は、株式会社東京証券取引所 (株東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株東京証券取引所)が有しています。なお、本商品は、(株東京証券取引所)により提供、保証又は販売されるものではなく、(株東京証券取引所)は、ファンドの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

●「MSCIコクサイ・インデックス」「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が公表しているインデックスで、当指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に属しており、また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

●「シティ世界国債インデックス」に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はシティグループ・インデックスLLCに帰属します。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

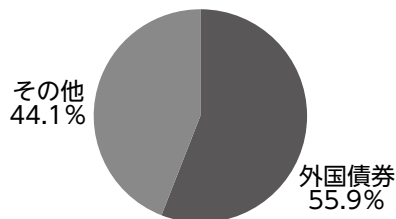
#### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US T BILL 07/20/17	アメリカ・ドル	18.7%
US T BILL 07/27/17	アメリカ・ドル	18.7
US T BILL 03/01/18	アメリカ・ドル	18.6
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
組入銘柄数	3銘柄	

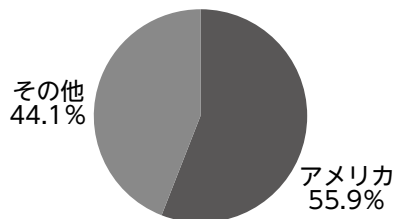
(注1) 比率は第75期末における純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

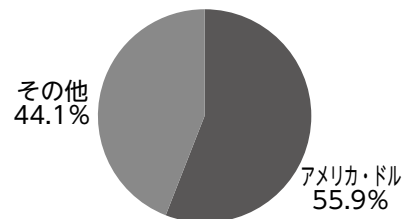
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は第75期末における純資産総額に対する組入有価証券評価額の割合です。

(注2) ドル預金および現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

項目	第74期末	第75期末
	2016年12月12日	2017年3月10日
純資産総額	6,347,714,025円	6,145,964,381円
受益権総口数	8,573,455,755口	8,340,076,248口
1万口当たり基準価額	7,404円	7,369円

(注) 当作成期間（第74期～第75期）中における追加設定元本額は2,953,706,974円、同解約元本額は3,740,323,957円です。